



私たちのSDGsのための取り組み



環境にやさしい印刷物

FSC® 森林認証紙

世界的な森林の減少が問題になっている中、適切に管理された森林に由来する木製品を使うことが重要とされ、国際的にさまざまな取り組みが行われています。その中で特に注目されている取り組みの一つがFSC® (森林管理協議会)のFSC®森林認証制度です。印刷物の制作においても森林認証紙を使うことで、森林保全を支援することができます。森林認証紙を用いた印刷は、認証付与された印刷会社のみが取り扱うことができ、当社は平成20年に認証を取得し、取扱いを行っています。



PUR製本

PUR製本とは、従来の一般的な製本糊である「エチレン酸ビニル系接着剤(EVA:通称“ホットメルト”）」に代わり、接着強度の高い「反応性ポリウレタン系ホットメルト接着剤(PUR)」を使用した製本方法です。従来のEVA製本に比べ、少ない量で強度が出せ、低温で接着ができるPURは、加工時の電力消費量も抑えることができるため、CO₂の発生量も低減され、省資源、省エネにも効果的です。日本印刷産業連合会の古紙リサイクル適正ランクリストで最高の「Aランク」に分類されています。



LED-UV印刷

LED-UV印刷では、インキの乾燥にLED (発光ダイオード) を用いています。従来のUV印刷と比べ、発熱量が低く消費電力が抑えられ、単波長の紫外線でオゾンが発生しないなど環境負荷の少ない印刷方式です。

カーボン・オフセット

新潟県では地球温暖化の防止にむけて、温室効果ガスの排出削減を推進するため、「県独自のカーボン・オフセット制度」を進めています。当社はこの制度に参加し、印刷時に排出されるCO₂をカーボン・オフセットすることで「トキの森クレジット」の利用を促進し、地域の森林づくりを支援しています。また自社商品だけでなく、お客様にも印刷物作成時に排出されるCO₂をカーボン・オフセットすることをおすすめしています。



植物油(ベジタブル)インキ

再生産可能な植物由来の油 (大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等) およびそれらを主体とした再生油を使用したインキです。同インキを使用した印刷物には、植物油インキマークを表示できます。また、米ぬか油を利用した「ライスインキ」もあります。



ユニバーサル・デザイン

カラーユニバーサルデザイン

「色のユニバーサルデザイン」とは、色覚障害などにより、特定の色が識別しにくい方にも、「見分けやすい色による情報伝達をめざそう」という考え方です。こうしたデザインは、公共交通機関をはじめ、私たちの身近なところから改善が急がれています。

色弱模擬スコープ「バリエントール」

「バリエントール」とは色覚障害のある方の見え方をシミュレーションするためのメガネです。こうした器具を使って見え方を検証し、デザインを調整していきます。



女性視点からの企画提案

当社では女性の企画チーム「d'onna(ドンナ)」を組織し、女性視点からの商品企画やデザイン提案、マーケティングサポートを行っています。



多言語対応

ユニバーサルデザインとは障がいを持つ方だけでなく、老若男女さまざまな方に伝わる表現を目指すものです。日本に来る外国人の数は今年年間3,000万人を超え、中長期在留者も増加しています。外国の方にも必要な情報を伝えるための多言語表示、ピクトグラムを活用した表示などが求められています。

脱プラスチック

イベント時の脱プラスチック 紙容器・紙ストロー

イベント運営などにおいても、SDGsの観点から資材調達に留意する必要があります。当社で運営するイベントは、脱プラスチック・再生可能資源素材の調達に配慮して行っています。

ライスレジン 新潟ならではの米由来プラスチック

化石燃料由来プラスチックの代替としてバイオマスプラスチックが注目されています。中でも(株)バイオマスレジン南魚沼が開発した「ライスレジン」は、お米を原料としたプラスチック。くず米や米加工食品製造の過程で生じる非食用米を原料としており、食品ロスの削減にも貢献します。当社ではライスレジンから作られるレジ袋やノベルティなどをお客様におすすめしています。

